

鋼管杭とRC杭のハイブリッド工法

設計・解析技術

海洋工事技術

ICT

リニューアル技術

水域環境技術

河川・湖沼工事技術

お客様のメリット

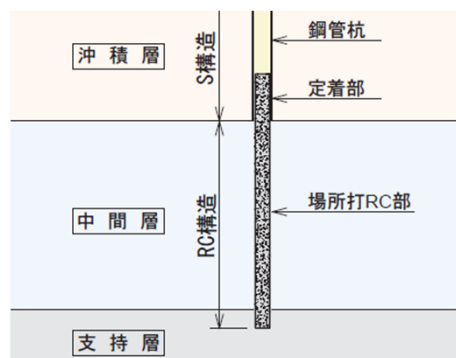
- 風化岩層、軟弱層の下の堅固な岩盤層への杭の根入れを可能とする工法です。
- 杭基礎の品質向上、コスト削減が可能となります。

技術の特徴

一般的に、風化岩層や軟弱層の下の堅固な岩盤層への杭の根入れは、打撃貫入が不可能な場合があり、場所打ちRC杭が採用されます。また、厚く堆積した風化岩層や軟弱層のような孔壁の崩壊が懸念される地盤に場所打ちRC杭を構築する場合、オールケーシング工法※が採用されます。

本工法は、風化岩層や軟弱層に対しては鋼管杭を打込み、鋼管杭をケーシングのかわりとし孔壁の崩壊を防ぎ、鋼管杭下端以深の堅固な岩盤層に対しては場所打ちRC杭を構築するハイブリッド工法です。これにより、杭基礎の品質向上、コスト削減が可能となります。

※：掘削孔全長にわたりケーシングチューブにより孔壁を保護する工法です。



鋼管／場所打ちRC杭工法の概念図



杭内部掘削状況



鉄筋かご挿入状況

実績・事例

オマーン国 LNGプラント棧橋・取水工事